

【景観作物植栽を通じた地域住民との協働】

いまほりほしのうら

今治星浦保全会（今治市）

～地区概要～

愛媛県今治市の西部に位置する大西町で、かんきつ栽培と稲作を行う地域を中心に活動。地区内には住宅団地があり、農家・非農家が混在。

活動範囲は田9ha、畑11ha、対象施設は水路9.6km、農道10.9km、ため池5か所。

～主な取組～

本組織では、自分たちの手で農村景観の良い地域づくりを実現するため、農用地の保全管理や農業用施設の適正管理の他に農道法面に芝桜を植栽する農村環境保全活動に取り組んでいます。

平成28年に役員で芝桜による景観形成活動をしている先進地を視察研修し、その取り組みに深く感銘を受け、まずは地域の実情に合うよう、組織で協議しながら活動計画を立てました。

農道法面の雑草対策として法面に植栽専用シートを張り、マルチングと芝桜を組み合わせた法面被覆を実施することで、草刈り等の労力軽減を図るとともに、地域住民の憩いの場となるように、植栽時には自治会、老人会にも呼び掛けるなど地域ぐるみで取り組んでいます。

3年かけて約250mの区間に植えられた約2,500株の芝桜が毎年4月中旬から下旬にかけて満開となり、地元住民のみならず集落外からも多くの人々が訪れ、散策スポットとなっています。またPR看板「芝桜かわら版」を作成し、活動の啓発・普及を行っています。

今後も、芝桜が安定して咲くよう、こまめな草取りや欠株箇所への補植などの維持管理を地域住民と共に行うことで、田園空間を利用した新たな景観を形成し、色鮮やかに広がる芝桜の素晴らしさと安らぎを、訪れる人々に提供できる地域づくりを目指します。



芝桜かわら版



地区住民による芝桜の植栽



欠株箇所への芝桜の補植



満開の芝桜
(4月中旬～下旬頃)

【今治市農業土木課】